

平成22年6月29日(火) 西原小学校 参加者50名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：施設が重複しているのは合併時の協議会で議論したはずなのに、なぜ今更ここで議論になるのか。

プールの件、プールの跡地について更地にするのか。前市長は公共施設にしようと思ってたはず。その跡地については、テニスコートやグラウンドなどという話もあったと思うが、土地を地主に返すという噂がある。建設するときは地主にお願いしておいて、事故があったから返すというのは理解できない。参加者の健康を考えるなら、スポーツをする施設は必要ではないか。

市 長：合併時から当然2つあることは分かっていて、2つあることが悪いというのではなく、老朽化していることが問題です。多額の経費をかけて維持管理していく必要があるかどうかということです。私の基本理念は市民の命を守ることです。例えば、学校などで外壁がきたないという話を聞きますが、まずは安心安全を最優先に考えているため耐震補強を先に実施しています。

プールの件、日本一安全なまちを目指す中、跡地については決定していた訳ではなく、テニスコートも前から検討はしていました。行政の継続性という点では以前の判断がどうこうではありませんが、土地の権利関係が複雑です。今ふじみ野市では公園も借地が多くあります。「相続時に買ってくれないか」と言われますが、今の財政状況では、返還する方針としています。公共施設の約170か所が借地です。こうした固定費の割合が高いことも県内ワースト3位の要因です。

国も財政難から土地を売却しているので、ふじみ野市も売却しろという声もありますが、当面は更地にして、大井清掃センターなども含めた整備方法を検討したいと考えます。

建設する時に土地を借りるのは手っ取り早いですが、きちんと土地は購入した上で造って行くべきだと思います。子どもにツケを回さないというのは、借金を全くしないということではなく、世代間の負担はしていただきます。有利な借金ができるこの時期にやらなければ、将来に負の遺産を残すこと

になります。

いま医療費も増え続けていますが、医療費を削減するのではなく抑制するためには、市民の健康づくりが大切なので武蔵野の体育館も存続していきたいと思います。

参加者：亀久保地区に公園がひとつもない。前市長の時に要望を出し継続審議となっている。ヤマハの跡地を買って、今は大変かもしれないが10年20年100年後のことを考えれば、広大な土地を借金してでも買い、素晴らしいものを残して欲しい。

市長：市として一切、買う買わないという議論は出ていません。優先順位として何を先にすべきか考える必要があります。公園については、持ち帰って検討させていただきます。近隣の自治体からは、交付税の特例や合併特例債について羨ましがられている状況であり、このことは、後生の皆さんにも喜んでもらえることと思っています。

参加者：子供のサークルで公民館とフクトピアを利用している。フクトピアは3枠になって料金設定されている。それぞれ枠の間の1時間は何のためにとっているのか。公民館は休み無しでずっと貸してくれる。小学生だと時間的に4時から6時という活動なので、今の設定だと2枠とらなければならない。たくさんの市民の皆さんが使用できるように、1時間単位にできないか。備品についても、マーカーは次回から持参してくれと言われた。有料施設なのになぜか。

市長：公民館は社会教育施設でフクトピアは貸館なので異質なものです。フクトピアの1時間については、清掃員の作業と次の準備に充てており、公民館は利用者自らが片づけ、綺麗にして次の利用者に引き継いでいます。フクトピアは指定管理者にする予定なので、すぐには解決できませんが、今後移行していく中で提案を参考にさせていただきます。備品の件は調べさせていただきます。

参加者：フクトピアについて問い合わせた時、電話交換がどこが担当しているのかわからず迷っていた。だれでも直ぐに分かって対応してもらいたい。交換が繋いで出るまでに、また時間がかかる。以前住んでいたところでは、ワンコールで取っていた。待たせても『お待たせしました』の声もない。電話の対応も非常に悪いので、マナー研修が必要ではないか。

副市長：4月号の市報に直通の電話番号を掲載したのでご利用いただければと思い

ますが、民間なみのサービスを提供したいと考えます。

参加者：公共施設の適正配置計画のことではなく、もっと生活に身近に関わることを話したい人も多い。適正配置計画は市にとってではなく、市民にとっての適正配置を考えてほしい。適正配置計画、まちづくり検討委員会などでコンサルに委託しているが、大きなお金がかかるので無駄だと思う。まちづくりは市民の手で。また、今日だけでなく、頻繁に市民の声を聞いてまちづくりをして欲しい。命に関わることは早急にやっていただきたい。

市長：コンサルの件は、最小の経費で最大の効果を考えるべきです。専門知識を有しているコンサルが良いのか、職員が数名で時間をかけるのが良いのか。委託については、それぞれどちらがよいか考えていきます。タウンミーティングでは、財政が厳しい厳しいと繰り返しているが、苦しい中でも教育・福祉については、他を切り詰めてでも支出しなくてはなりません。全部我慢してくださいということではなく、優先順位が大切です。

参加者：県道の件はいつまでたっても良くなる。減税が必要では。議員特例もいいかげんでうそっぱちなことばかり。議員を減らせないか。

市長：市は基本的に国の制度に基づいて動かなければなりません。国の批判をする訳ではありませんが、市が一番住民に密着している訳ですから、子ども手当の年間19億円は市の自由に使わせて欲しいと思います。議員特例も次の任期までとして44人から26人に減って4億円あまりの削減になりました。議員定数は市長の立場として言うべきではなく、議会自らが判断し決断すべきと考えます。

副市長：県道拡幅の件は現状、住宅が張り付いていて、実態として拡げるのはかなり困難と考えます。

参加者：大井支所の窓口サービスは、高齢福祉課がすべて本庁に行ってしまうと非常に不便。高齢化率が高くなっている。問題があると本庁まで連れていかなければならない。テレビ電話でも入れてもらうと助かる。本庁に行くと机がびっしり並んでいる。こちらに少しよこしてもらいたい。お金は無くてもサービスは落とさないでもらいたい。

市長：そうしたいと思って取り組んでいます。なぜ低下してしまったのか。検討して支所機能を充実したいと思います。

参加者：4月までは分かる職員がいたが、他に異動してしまった。すぐに本庁に行ってくれと言われる。

市長：窓口機能の充実は、全力で取り組みます。

参加者：財政が厳しい厳しいと言っている中、議員は何名にしたら良いのか。議会でも継続審議になったが、財源を他にまわすべき。

ふじみ野市の強みは何か。それにより増収策をはかるべき。民間手法の営業日誌等付けさせる。前向きに検討しますではダメ。民間の手法を取り入れてやるべき。

市長：議員の数については、先ほどのとおりです。市民から付託を受けた議決権のある人たちなので、その責任の中で自ら判断していただきます。

ふじみ野市の強みは、高齢化率は高いが首都圏30キロ以内、都心部から来る企業もまだまだあると思います。旧大井でも旧上福岡でも、まだまだ開発できる場所もあります。子育て世代が移り住んでくれるまち、子ども優先、活気あるまちを目指したいと思います。

参加者：武蔵野に集会所があるが維持管理経費について、面倒みてもらえないか。高速道東側の住宅地域は下水が溢れる。市役所に言っても拉致があかない。何とかしてほしい。

参加者：西原住宅内に西原集会所がある。自治会が解散して町会が面倒をみている。

市長：後日調べて対応します。

【個別回答】

・西原住宅自治会集会所の管理について

ご承知のように、自治組織で所有し管理している集会施設については、集会施設の維持管理経費として、光熱水費として支払った額の3分の2を補助しております。補助の対象となる集会施設は、その活用をマンションや自治会居住者のみに限定せず、町会で活用するなど、広く市民に開放されている施設を対象とさせていただきます。

西原住宅自治会集会所は、西原住宅の開発時に居住者の皆様のための集会施設として建設され、活用されてきましたが、西原住宅自治会が解散したため、現在、集会所の管理・活用は、武蔵野町会が行っていると聞いております。

市といたしましては、武蔵野町会の区域内には、すでに地域の皆様に活用していただく公共施設として武蔵野分館と原分館という2つの中央公民館分館があります。

特に、武蔵野分館は、西原住宅自治会集会所から至近距離に位置していることから、さらに西原住宅自治会集会所に対し、財政支援をすることは難しいものと考えます。

現在、町会の区域の広さや、町会ごとの集会施設の数や規模など、集会施設のあり方について検討しておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

参加者：前からこの辺の地域は緑を残していきたいと言われている。農家は固定資産税、相続税が高額で払えない。林を売ろうとしたが、ここは開発できないと余計なことを市が業者に言った。農地も開発できるような事を考えてほしい。法の網をかけないで、開発できる余地も残してほしい。

副市長：都市農業は三代で終わってしまうとも言われますが、今後の街づくりのなかで、調整区域の開発のあり方も検討させていただきます。

参加者：西中、三角小、亀小の外壁を何とかしてほしい。耐震も外壁も同じ投資で、学校の場合は4次元的に考えてほしい。アルバムを差し替えることはできない。真っ黒い校舎のアルバムをもって卒業していくことになる。少しでも早くやってあげて欲しい。耐震も大事だが、子どもたちの思いも受け止めて欲しい。優先順位を考えた時、これから市債を返していく子供たちのためにも。

市長：何とかしてあげたいが、国が耐震補強を優先しているので補助率が高くなっています。外観でなく、母校に愛着がもてるように、地域で子どもたちを育てていくような、あたたかいものが大切なのだと思います。だからといって、やらないという訳ではなく、可能な限り早急に取り組みたいと思います。

参加者：武蔵野の道路排水溝の件で5月に申請書を提出したが、予算措置について庁内で調整しないとできないと言われた。

市長：雨水の件は、市内でもあちこちあります。過去に開発したところは、今の局地的な豪雨に対応できない状況です。雨水の問題も、先ほどの学校の問題と同じように優先順位を考えてまいります。

市長：保育所の件は、来年開設する120名定員の認可保育所を補助しています。翌年度も一つ予定があります。家庭保育室の保育料も補助し、公立並になっており、実質的な待機児童は少なくなっています。

参加者：鶴ヶ岡に保育所ができるのか。

市 長：予定はありません。

参加者：学校前の道路が抜け道になっている。朝は地域の方や先生に見守っていただいているが、夕方が非常に危険である。一方通行などにしてほしい。車の規制ができないか。

市 長：通学路の件は教育長と協議してまいります。現場を見て検証し、安全な通学路にしたいと思います。

参加者：財政状況のなかで、物件費、維持修繕費を減らしたいということだが、どの辺まで減らすのか。特例債が残り5年間というなかで庁舎をどうするのか。どちらもポロポロだったら建て替えが良い。新しく建設する場合は、真ん中が望ましいが、できないのなら、この辺あるいは、上福岡なら花中あたり。庁舎を売却し、駐車場なども確保してやっていけばよい。今後も和光、朝霞、富士見などと合併して政令市を目指すのか。その辺によっても庁舎の位置、あり方を考えなければならないが。

市 長：県南の合併は進まず、2市2町も駄目でした。スケールメリットから、この合併は正解だったと思っており、今以上の合併は考えていません。庁舎は耐震するにしても高額になり、新築も将来を見据えたなかでは、難しいと思います。具体的には今後、支所のサービスの充実もあるので、いろいろ検討してまいります。

部 長：物件費は約1億8千万円減らしたいと思います。

参加者：総合福祉センター利用者は一日平均どのくらいなのか。風呂を無料で利用している人もいるが、少し負担しても良いのでは。2階の受付も、もう少し減らしても良いのでは。

市 長：延べ人数で59,316人です。市民サービスとして無料でやってきたが、負担していただければ有り難いです。太陽の家でも漏水事故があり、復旧に100万円程度かかりましたが、今後も維持管理費は増大します。総福は、まだ新しいですが今後、老朽化すれば同じことなので、少しでも負担して頂ければ助かります。

参加者：災害や震災のときに町会に入っていると、救援物資などが届くなどの理由

で勧誘活動をしているが、それを確かめた市民に役所は「そんなことはない」と。加入促進を図るのが役割ではないのか。

市 長：町会に限らず、老人会も加入者が段々減っています。町会については、基本的には任意加入ですが、行政としては加入しているかないかで分け隔てするわけにはいきません。

参加者：駐輪場が有料化されるが、富士見市の駐輪場は3年以上の予約待ち。エコの点では、自転車置き場の確保は時代の流れであり、有料化は逆行するのではないか。

市 長：駐輪場も借地料を払っています。先ほどのお風呂の話でも出たように受益者負担も必要です。「給食費は一日数百円で食べられるから安いよね」、と言われますが、人件費や施設の維持費など、皆さんの税金でまかっている費用があるからです。

児童館も一児童につき29,000円の経費がかかっています。利用者からも最低限は負担していただく必要があります。駐輪場のキャパは民間も入れて対応可能です。

参加者：有料にするなら、きちんと整備してほしい。

市 長：舗装整備したうえで、整理員を置きます。

21:53 閉会